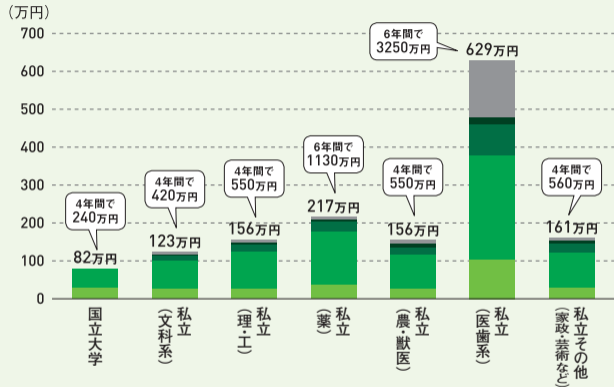
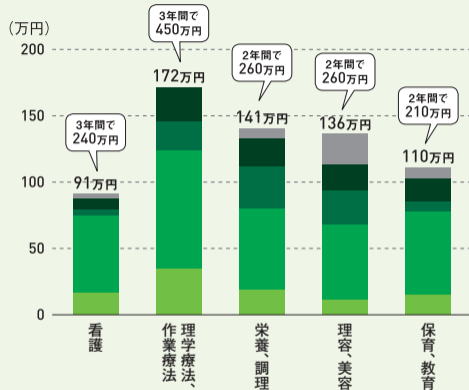


● 大学の初年度納付金



文部科学省「平成26年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)」(昼間部)
 ※国立大学は標準額 ※1万円未満は四捨五入 ※フキダシの数字は卒業までにかかる総額の目安

● 専門学校の初年度納付金



東京都専修学校各種学校協会「平成28年度 学生・生徒納付金調査」専門課程
 (専門学校)平均(昼間部)より抜粋
 ※1万円未満を四捨五入 ※フキダシの数字は卒業までにかかる総額の目安

- 入学料(金)
- 授業料
- (施設)設備費
- (実験)実習料
- その他

約100万円～
分野により大きな差

大学の初年度納付金(上記凡例の5項目の合算)は、国立は一律82万円。私立は学部系統によって異なり、実験・実習の多い理系は高額になる。専門学校も分野の差が大きい。また、就学年数によって卒業までの費用が変わるので、入学前に見通しを立てておくことが大切だ。